



旭中学校 あさひタイム中間発表「第一次産業から再発見 延岡の魅力」

旭中学校の 1 年生が、標記のテーマで 1 学期から取り組んできた学習を発表しました。初めに個人発表、その後、漁業班と農業班に分かれて質問懇談会を行いました。質問懇談会では、6 月にビデオメッセージを視聴した際の講師に來校していただき、生徒の質問に熱心に答えていただきました。講師は、漁業がひむか本サバの養殖をされている中西彬裕さん、農業が、果樹栽培をされている田口正幸さんです。生徒達は、ビデオメッセージに登場した講師の方が、目の前で実際に質問に答えてくださるということで、ワクワクしながら、たくさんの質問を行っていました。生徒の主体的な取組と講師の方々の温かい助言の成果が表れた素晴らしい発表会でした。



「子どもたちの柔軟な発想を伸ばす」

一ヶ岡小学校 校長 鈴木 泰昌



AI の発達によって、今後 10 年～ 20 年で今の職業の約半分がなくなると予想されている現在、子どもたちへどのようなキャリア教育をしていけばよいのでしょうか。AI と人間の特性を比較してみると、AI は答えのある問いに対して人間よりも早く正確に導き出すことができ、人間は答えのない問いに対して思考することができると言われています。将来、社会に貢献できる大人になるために、小学校段階では、かかわりを学級の友達集団から異年齢集団に広げ、集団の活動に進んで参加し役割と責任を果たす中で、よりよい集団づくりを目指して創意工夫させていくことが大切であると感じています。つまり、ないものを生み出す思考力を高めることが、将

来、職業を時代の要請に即して改善・開拓していく力につながるのではないかと考えます。ですから、様々な教育活動の中で子どもたちの柔軟な発想やアイデアを大いに賞賛し、創り出す喜びを味わわせる教育にも取り組んでいきたいと思います。

なりたいことが見つかるまで

伊形小学校 校長 中野 哲洋

現在、フリーターやニートが社会問題になっている。一方では、ユーチューバー等の新しい職種が出現し、職業の転換期を迎えているのではないだろうか。

先日、学校に講師として招聘した新聞記者の方が、子どもたちに『何になりたい』より『何がしたい』『何をするのが好き』と考えよう」と講話していた。

なるほど、何になりたいと先々の夢について子ども達に尋ねても答えられない子どもが多いが、何が好きという身近な嗜好について尋ねると意外に答える子が多いものである。

学校教育も変革期にあり、教科としての外国語や道徳、プログラミング学習や G I G A スクール構想など、実社会で必要とされる力を高める教育の改革が行われ、知識・経験を得られる環境が整えられている。

子ども達の嗜好と積み重ねている知識・経験が結びついたとき、はじめて子ども自身が納得できるキャリアを手に入れることができるかもしれない。

大人である私たちが、その一助になりたい。



「明るく、希望がもてる社会に向けて」

岡富中学校 校長 栗田 茂樹



本原稿依頼があった日に、コロナ禍の中、新しい命が誕生した。私事をこのような公式原稿に書くのははばかれるが、私の長男に子ども（初孫）が誕生した。私の家族にとって、久しぶりの嬉しい話題となった。

私たちは今、経験したことのない状況に直面している。今年生まれた子が成人を迎える時、どんな世の中になっているのだろうか。明るく、希望がもてる社会になっていることを望みたい。

まずは 10 年後の 2030 年までが、SDGs の目標達成期限である。その 2030 年は、今の子どもたちの多くが社会に出て活躍する時代だ。文科省も、新学習指導要領において「持続可能な社会の創り手の育成」を明記し、この 10 年で目標の達成に近づけていく教育が私たち学校にも課せられている。そして、そこで学んだ子どもたちもその先の子どもたちへとつないでいく責任がある。

コロナ禍の状況の中で、安全・安心が第一である。危機意識をもちつつ、出来る範囲で学びを続けていく必要もあると感じる。この学年の学びの機会は今もどらない。キャリア教育を中心とした教育活動もそうである。さまざまな工夫をしながら、早く働いてみたい、大人になるのが楽しみになったと言える子どもたちを育てていきたい。

本校のキャリア教育

北川中学校 校長 黒木 倍明

北川中学校は、旧北川町内では唯一の中学校（全校生徒数 46 名）です。清流「北川、小川（こがわ）」があり、カヌー体験学習も行っています。キャリア教育については、職業調査や職場体験学習、延岡市のプログラム等で推進しています。講話では、職業（仕事）に関する夢や喜び、挫折や工夫についてのお話を伺い、本当に勉強になります。また、ユネスコスクール申請中で、地域と連携した教育活動を多く設定しています。高齢者施設訪問や清掃ボランティアなどを実施していて、地域の方達とのふれあいもキャリア教育に役立てているところです。今年はコロナの影響で延期していますが、地元でキャビア生産を行っている生産者の方に講話を依頼していて、何とか実現させたいと考えています。また職場体験学習は、学校近隣の事業所に限定して計画しています。このような状況下ですが、工夫しながら可能なことをしっかり実践していきたいと思っています。



～キャリア教育実践交流会～

11 月の実践交流会は、延岡中学校の西山先生に、学校での実践について発表していただきます。多数のご参加、お待ちしております。

～ 11 月 19 日（木）19 時より

社会教育センター会議室 2 ～

延岡市キャリア教育支援センター

〒882-0824 宮崎県延岡市中央通 3-5-1 延岡商工会議所内

電話 0982-33-6666 FAX 0982-33-6682 <http://nobeoka-career.jp/>

水永正憲 ☐ 080-4002-8167

敷石輝幸 ☐ 080-6410-5539

酒井康行 ☐ 090-2587-7837

✉ mizmas228@gmail.com

✉ sate815@ma.wainet.ne.jp

✉ y35lakre@ma.wainet.ne.jp